

世界のベストチョイスをお届けする独立系半導体商社

富士エレクトロニクス株式会社

平成27年2月期 第2四半期 決算説明資料

平成26年10月7日

〒113-8444 東京都文京区本郷3-2-12 御茶の水センタービル

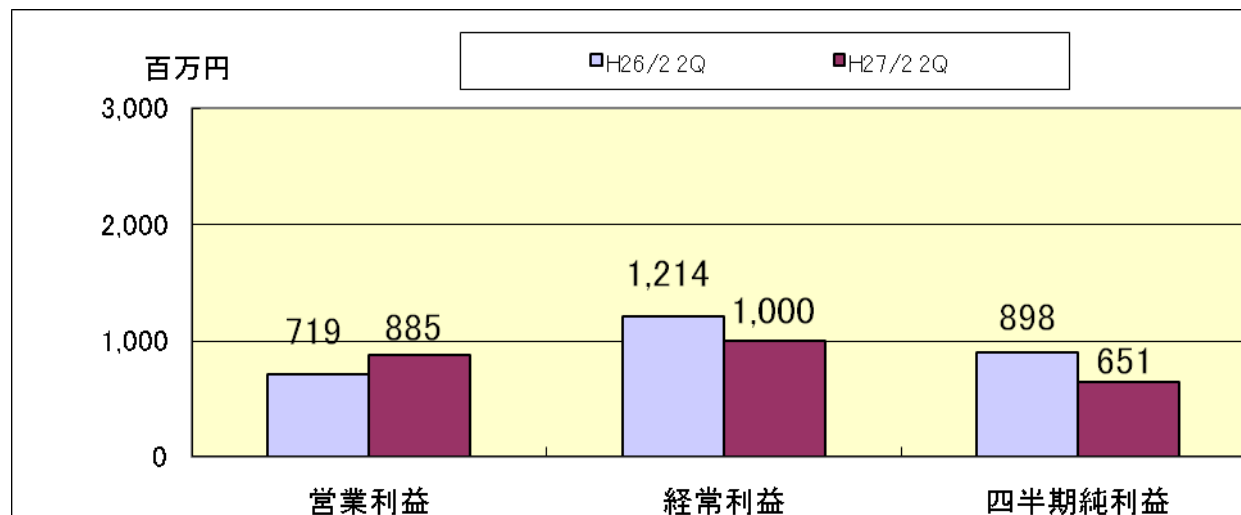
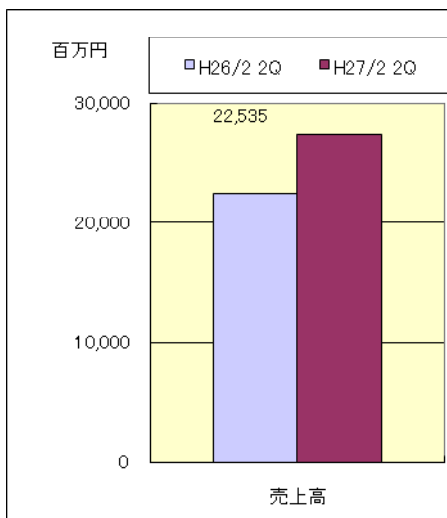
TEL 03-3814-1411(大代表) FAX 03-3814-1414

<http://www.fujiele.co.jp>

平成27年2月期 第2四半期累計業績（連結）

百万円

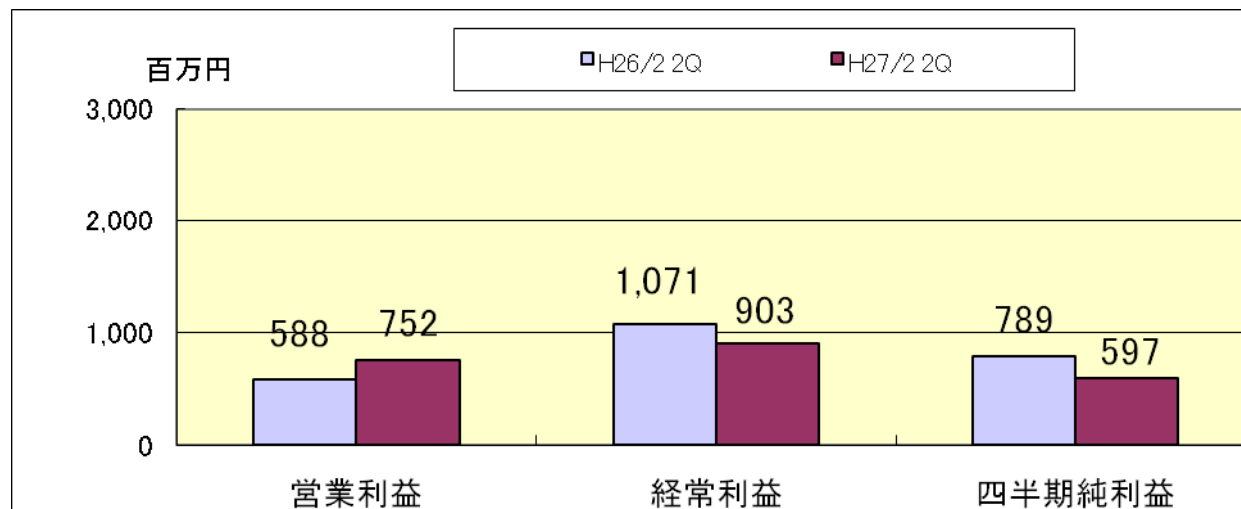
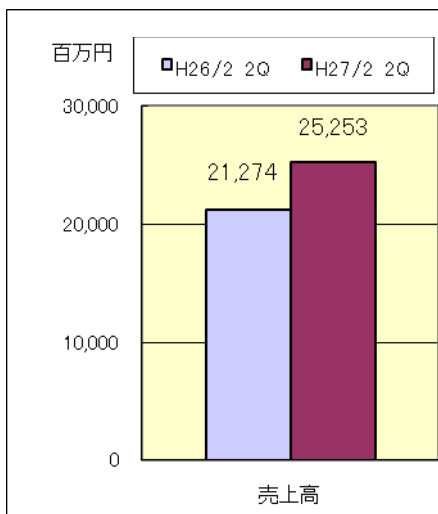
	平成26/2 第2四半期 実績	平成27/2 第2四半期 期初予想	同 実績	期初予想比 (%)	前期比 (%)
売上高	22,535	24,600	27,375	111.3	121.5
粗利率	15.4	15.3	13.4		
営業利益	719	1,030	885	86.0	123.0
経常利益	1,214	1,050	1,000	95.3	82.4
四半期純利益	898	670	651	97.3	72.5



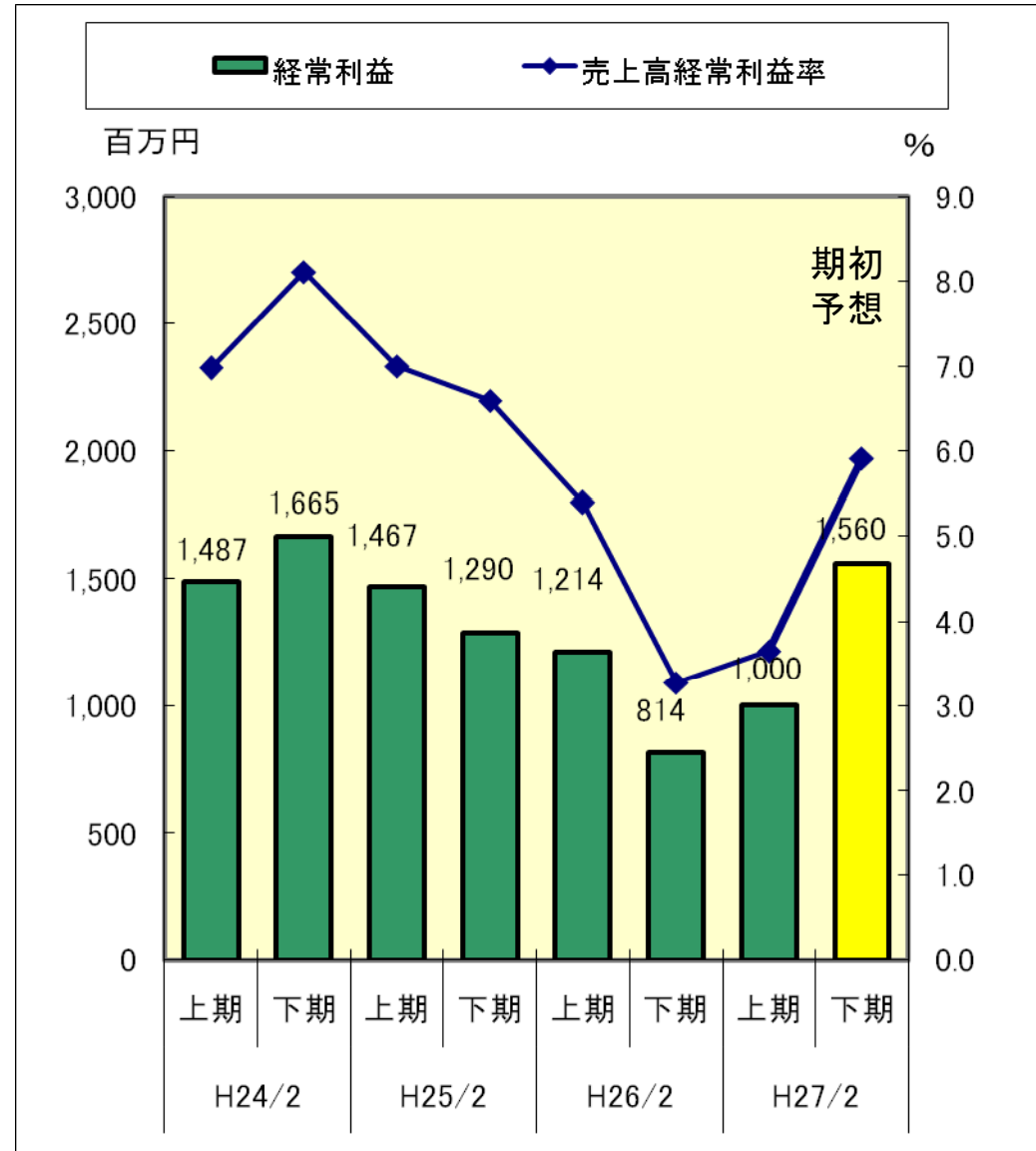
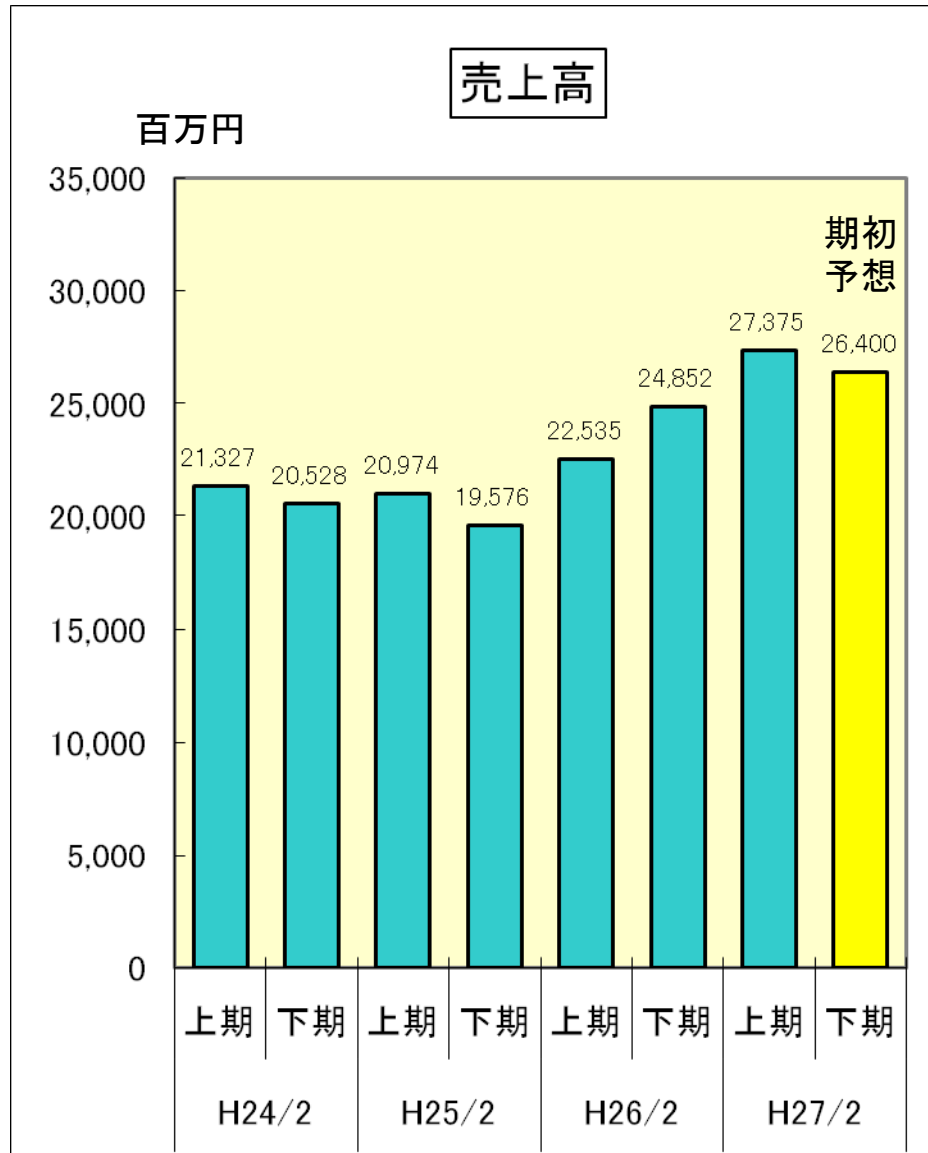
平成27年2月期 第2四半期累計業績（単体）

百万円

	平成26/2 第2四半期 実績	平成27/2 第2四半期 期初予想	同 実績	期初予想比 (%)	前期比 (%)
売上高	21,274	22,600	25,253	111.7	118.7
粗利率	13.8	13.9	12.1		
営業利益	588	840	752	89.5	127.7
経常利益	1,071	860	903	105.1	84.4
四半期純利益	789	550	597	108.6	75.7



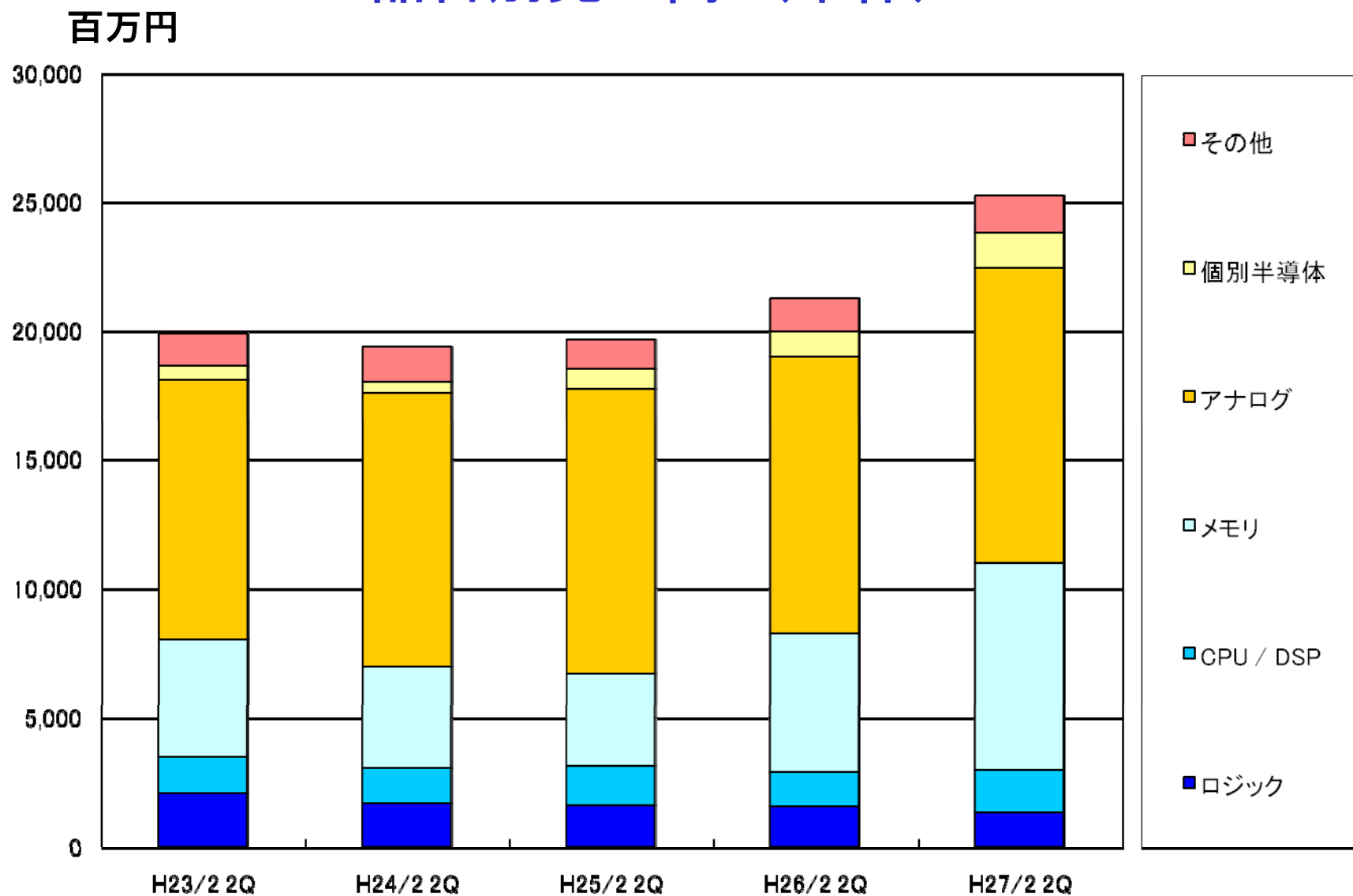
連結業績の推移



連結主要指標の状況

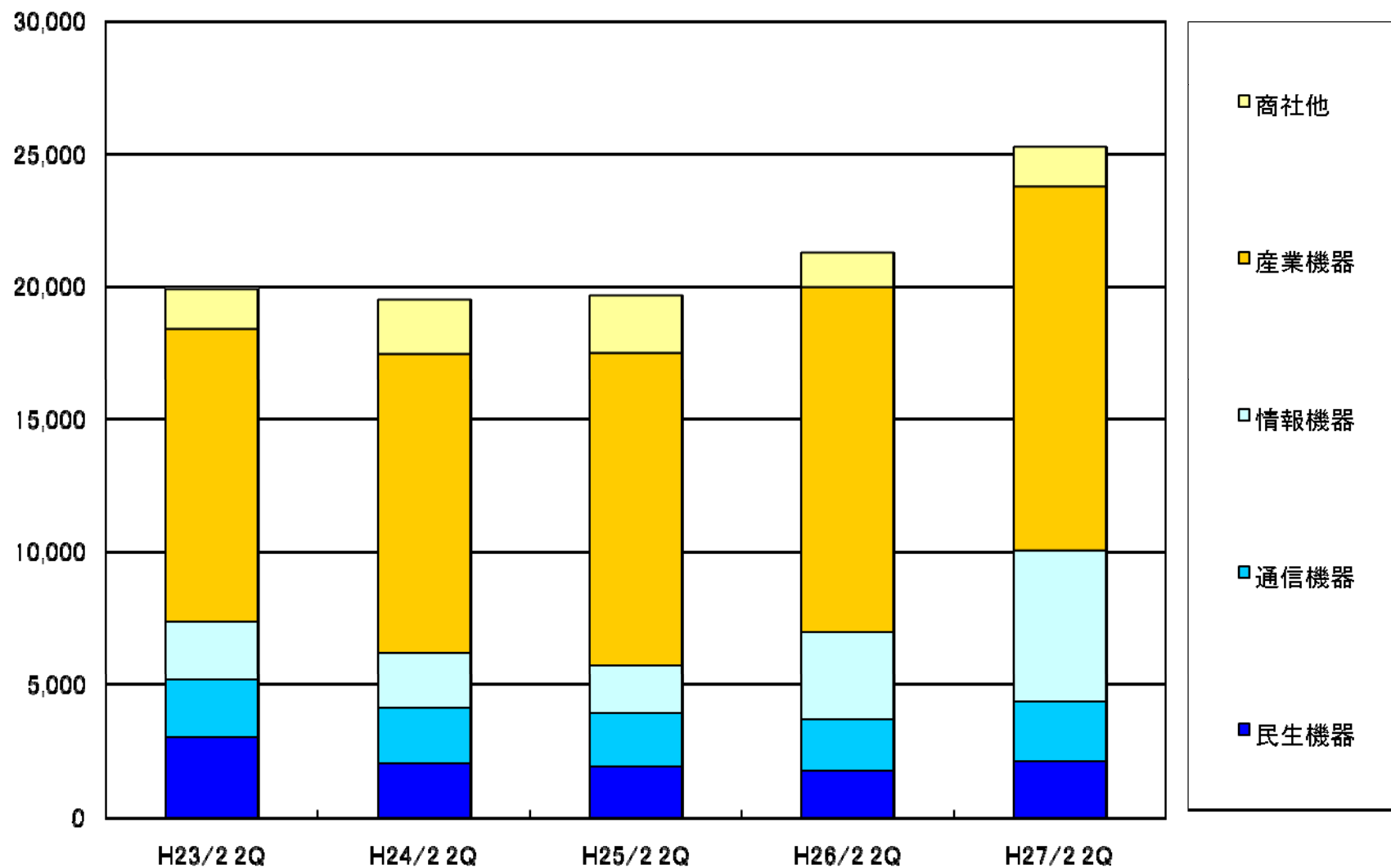
		平成26/2 2Q累計	平成27/2 2Q累計
総資産	(百万円)	35,474	38,106
純資産	(百万円)	22,726	23,284
四半期純利益	(百万円)	898	651
1株当たり純資産額	(円)	1,620.03	1,659.73
1株当たり四半期純利益	(円)	64.22	46.51
自己資本比率	(%)	64.0	61.0
自己資本利益率(ROE)	(%)	4.0	2.8
営業活動によるキャッシュフロー	(百万円)	621	67
投資活動によるキャッシュフロー	(百万円)	△354	1,418
財務活動によるキャッシュフロー	(百万円)	△1,286	△708
現金及び現金同等物の四半期末残高	(百万円)	11,914	9,934
従業員数	(名)	406	420

品目別売上高（単体）



用途別売上高（単体）

百万円



主な用途先と仕入先メーカー（単体）

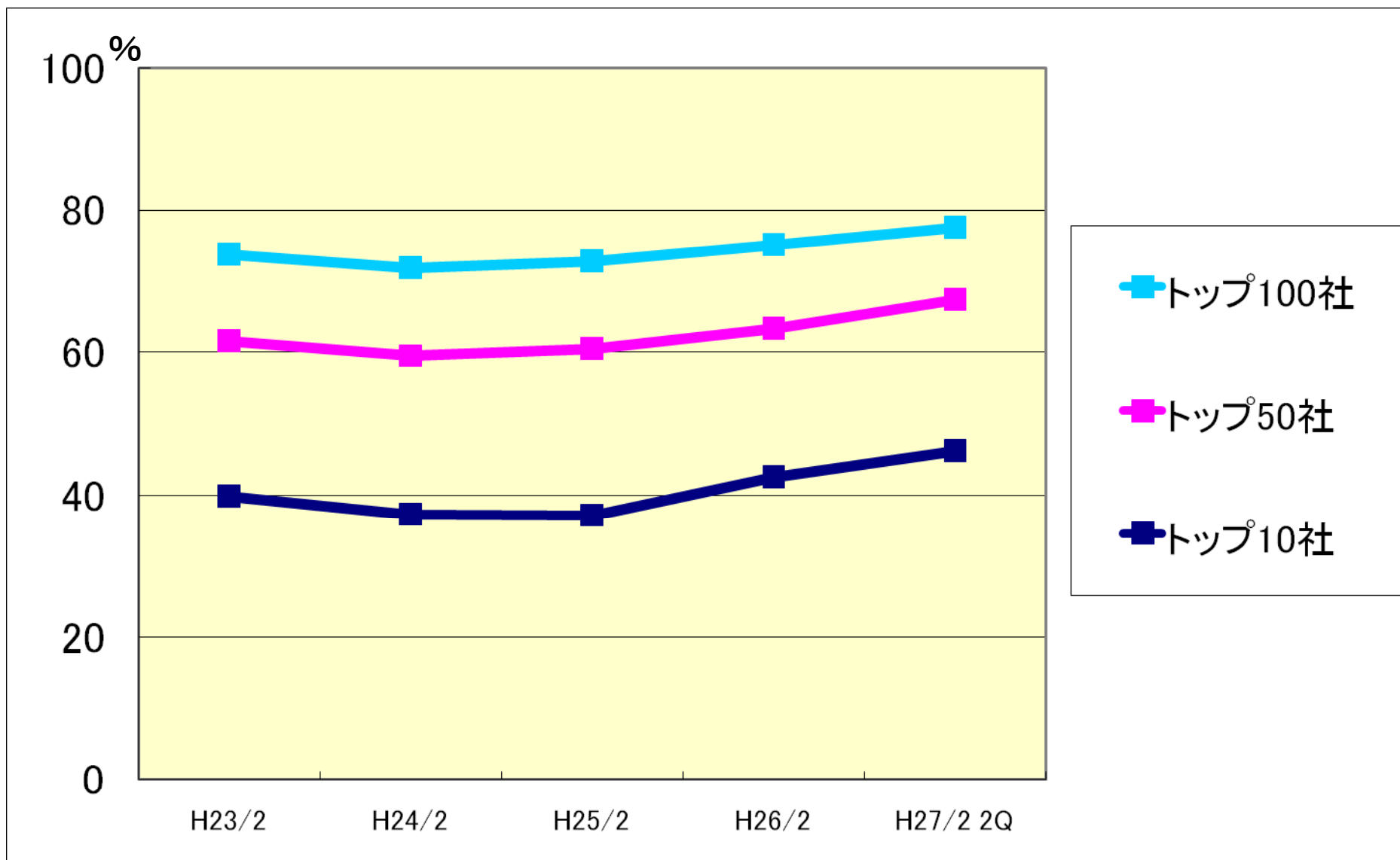
主な用途先

民生機器	カーナビ、AV機器、エアコン、電子楽器等
通信機器	携帯電話および基地局、次世代ネットワーク等
情報機器	PCおよび周辺機器、サーバー等
産業機器	FA機器等製造装置、半導体製造装置、計測器、事務機器、医療機器、モーター制御、電源装置、宇宙・防衛関係、アミューズメント等

主な仕入先

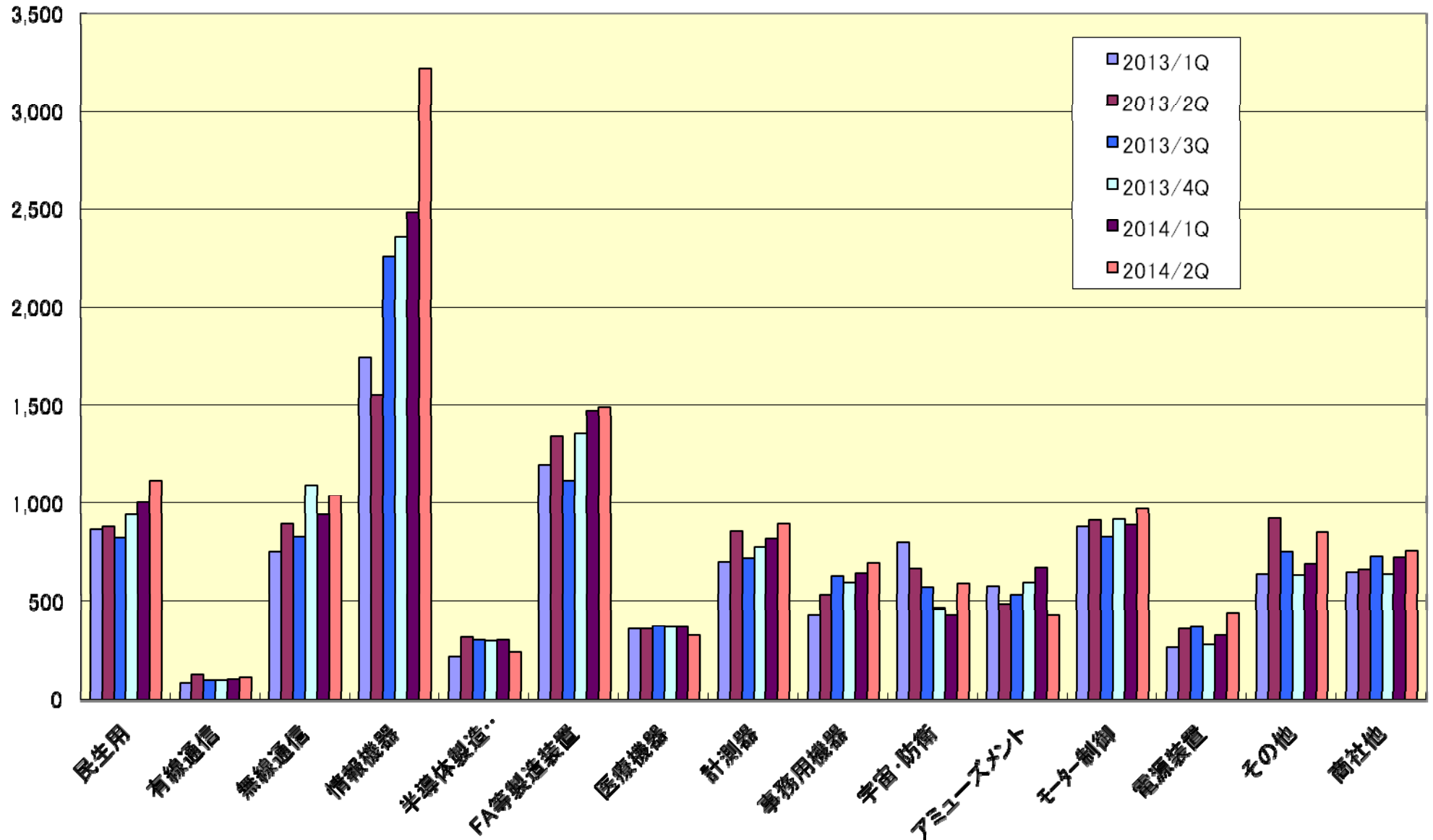
個別半導体	オンセミコンダクタ、フェアチャイルドセミコンダクタ、アバゴテクノロジー、クレー、インフィニオン、
アナログIC	テキサスインスツルメンツ、アナログデバイセズ、オンセミコンダクタ、
メモリIC	マイクロン、オンセミコンダクタ
ロジックIC	テキサスインスツルメンツ、オンセミコンダクタ、ステップテクニカ、
CPU/DSP	テキサスインスツルメンツ、アナログデバイセズ、

客先別売上比率（単体）

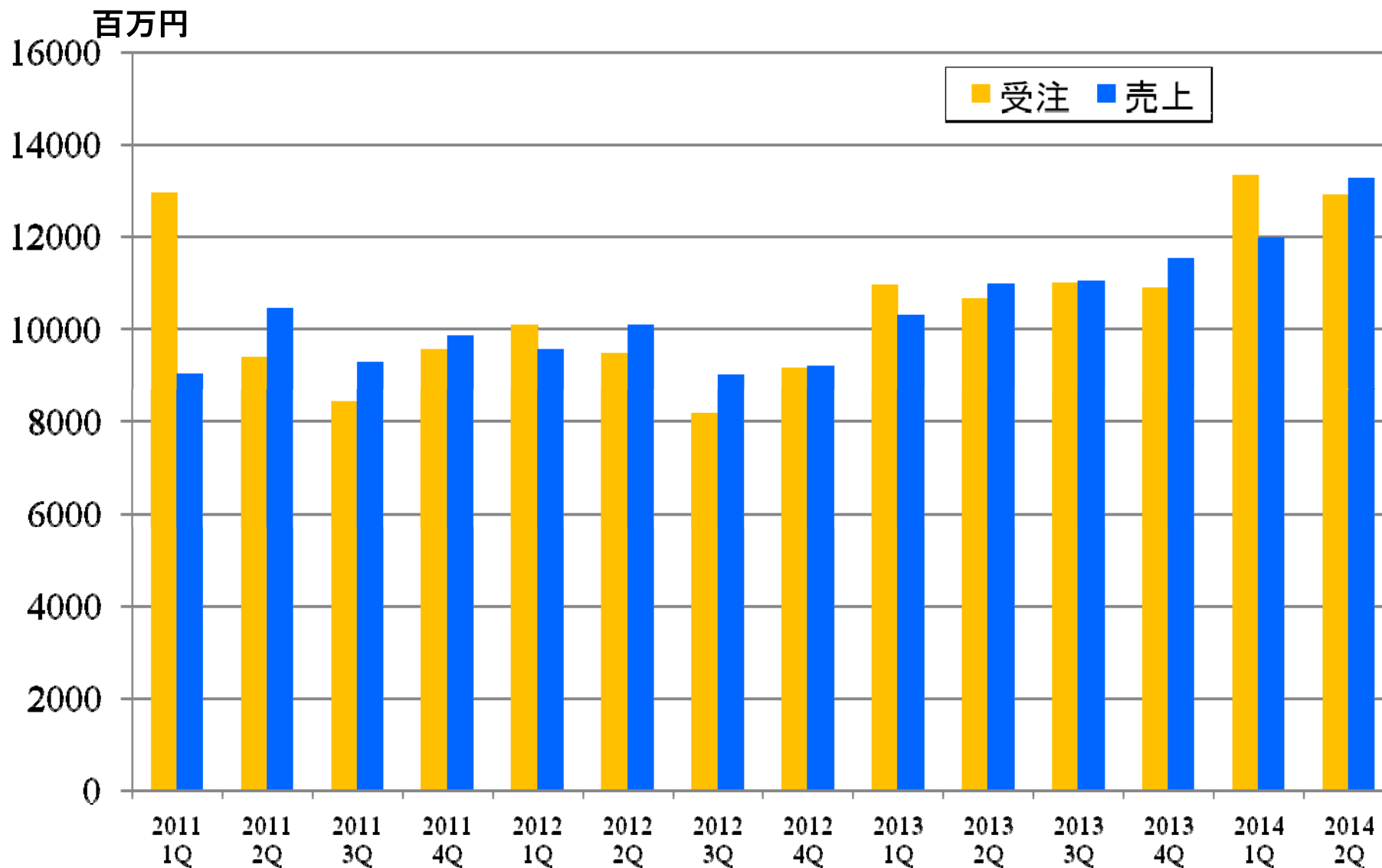


用途別売上高の四半期推移(単体)

単位:百万円



受注・売上額の四半期推移(単体)



受注・売上の四半期推移(単体)

		百万円	前年同期比	直前四半期比
受 注	2012/3Q	8,162	97.0	86.1
	4Q	9,145	95.7	112.0
	2013/1Q	10,954	108.6	119.8
	2Q	10,661	112.5	97.3
	3Q	11,003	134.8	103.2
	4Q	10,901	119.2	99.1
	2014/1Q	13,350	121.9	122.5
	2Q	12,920	121.2	96.8
売 上	2012/3Q	8,991	96.8	89.1
	4Q	9,200	93.5	102.3
	2013/1Q	10,290	107.7	111.8
	2Q	10,984	108.8	106.7
	3Q	11,053	122.9	100.6
	4Q	11,533	125.4	104.3
	2014/1Q	11,972	116.3	103.8
	2Q	13,281	120.9	110.9

平成27年2月期第2四半期(累計)のまとめ

1. 当期は、消費税増税の反動が懸念される中で、底固い設備投資や政府の経済対策効果などにより国内景気はゆるやかな回復基調と思われれます。
海外は、米国が堅調な景気回復が続き、中国はじめ新興国はばらつきがあるものの、全体としては堅調な推移とみられます。

半導体業界は、自動車向けやスマートフォン、タブレットなどが好調でした。また産業機器向けも昨年に比べて増加傾向であり、全体的に順調な推移となりました。
2. こうした中、当社グループの上期業績は、売上高は連結・単体とも予想比10%超で過去最高となりましたが、粗利率の回復が想定より遅れ、利益面は若干計画を下回りました。
3. 単体の分野別では、メモリ大口先である情報機器向けが引き続き好調に推移しました。FA製造装置・計測器など主力の産機市場向けも全般に好調、通信機器向けや事務機器向けなども商流獲得の効果を反映して増加しました。一方、前期の反動から宇宙関連向けは減少しましたが、全体の売上では前年同期比18.7%増となりました。
4. 連結子会社は、アジア地区はオンセミの海外直取引が順調に進み売上は好調でしたが、シンガポールとタイは利益面で苦戦しました。米国は宇宙向け大口案件が終了し、売上・利益とも大きくマイナスとなりました。国内各社は順調な推移でしたが、子会社全体では増収減益となりました。

富士エレ再成長プラン(前期スタート)

【目 標】

連結売上高500億円突破と収益体質改善、強化

【重点方針】

1. 強みである産機分野、中堅・中小客先向けの販売強化
2. 車載市場およびパワー半導体市場で本格的な開拓
3. アジア地区の営業拡大戦略の実行

平成27年2月期 基本方針(4月発表)

「粗利改善・経費効率化に集中、増益必達」

✓ 連結売上高 510 億 (前年比 107.6%)

✓ 連結経常利益 26.1億 (前年比 128.7%)

平成27年2月期 下期課題

- [1] 全社で顧客別に利益改善プランの提案と交渉
- [2] ブロード客先の拡販策の推進
- [3] アジア地区営業活動の拡大
- [4] 営業改革・業務改善の推進
- [5] 経費効率化への取り組み

平成27年2月期 上期実績・通期予想（連結）

単位：百万円

	上期 実績	下期 期初予想	通期		前期 実績
			期初予想	前年比	
売上高	27,375	26,400	51,000	107.6	47,387
粗利率	13.4	16.1	15.7		14.0
営業利益	885	1,540	2,570	223.9	1,147
経常利益	1,000	1,560	2,610	128.9	2,028
当期純利益	651	1,000	1,670	114.1	1,463

平成27年2月期 上期実績・通期予想（単体）

単位：百万円

	上期 実績	下期 期初予想	通期		前期 実績
			期初予想	前年比	
売上高	25,253	24,400	47,000	107.2	43,861
粗利率	12.1	14.6	14.3		12.7
営業利益	752	1,290	2,130	231.1	921
経常利益	903	1,540	2,400	122.0	1,967
当期純利益	597	1,050	1,600	110.6	1,446

WSTS(世界半導体市場統計)市場予測

伸び率:%

市場	予測	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
日本 (円)	2013/12月	△4.2	4.3	5.6	2.2	
	2014/5月		3.7	4.0	2.0	3.0
世界 (\$)	2013/12月	△2.7	4.4	4.1	3.4	
	2014/5月		4.8	6.5	3.3	4.3

* 半導体総合研究所 (2014/9月) **2014年予測 7.5%増(世界) 4.2%増(日本)**